



本年度、織笠地区でもソバの作付けなど遊休農地の活用が行われます（轟木地区）



佐々木良一郎議員

遊休農地活用

「農地付き宅地」の売買の状況は

希望する相談や農地移動はない

質問 団塊の世代の定年退職が始まった。2005年国勢調査によると県内の団塊世代は約6万9千人で試算ではこの人達が受け取る退職金は全国で36兆円超、県内だけでも約5千億円以上だと聞く。県職員の退職者は346人で、退職金は昨年より10億円以上多い総額97億5千万円が支給されたようだ。

昨年12月議会で「団塊世

代の退職者を受け入れる方法として、農地付き宅地の売買ができるように」との質問に、農用地以外の遊休農地を活用の場合は可能との答弁であった。その後どのように進めているか。

沼崎町長 「農地付き宅地」を農業振興地域内に求める場合は、農用地以外の農地であれば一部を宅地とすることは可能であると答えているが、現在までのと

ころ、新規に農地付き宅地を希望する相談はない。また、そのような農地の移動事案もない。

質問 本町の遊休農地は県内でも多い方だ。新たな活用方法を考えるべきだ。

沼崎町長 本年度、織笠地区でも遊休農地対策としてソバの作付けを行うことになっており、町、町農業委員会でも前向きな取り組みが進んでいる。

総務行政

長崎・大畑地区へのバスの運行

収支バランスを考えると厳しい

質問 山田病院の新築移転により、通院が遠くなった地域、長崎・大畑方面に岩手県北バスか町内タクシー業界にお願いし、定時（期）のバス運行を行うことができないか。

沼崎町長 現在町内を運行している路線バスは、定期バス路線代替バス等の運行を町が県北自動車株式会社に委託し、その費用の一部を支払っている。

新たに路線バスを運行す

る場合や路線の変更を行う場合は、所有バス台数の確保、収支の見込み、運賃、既存の運行系統の調整などの事業計画書を作成し国の許可を得ることが必要である。従って、業者との協議が必要であり、収支のバランスを考えると厳しい。

質問 タクシー業者と相談し、小型バスを活用することができないか。

沼崎町長 地域の需要、経費の節減などを考え、提起された内容は、これからの宿題として検討していく。

町の考えを聞く



定期路線バスの乗り入れが行われている県立山田病院